

2023(令和5)年9月19日 報道発表資料  
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



@ロームシアター京都 ローム・スクエア(屋外) / 無料・申込不要

9/30(土)、10/1(日)、7(土) ローム・スクエアライブ

10/14(土) 岡崎ワールドミュージックフェスタ 2023

10/16(月) 小菅紘史×中川裕貴「山月記」

10/15(日)、21(土)、22(日)、28(土) ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語らう会

OKAZAKI PARK STAGE 2023 詳細・最新情報は [こちら](#)

企画製作:ロームシアター京都

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

KYOTO EXPERIMENT 2023 提携プログラム

令和5年度 文化庁 文化資源活用推進事業

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形、加藤

電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp

今年もロームシアター京都の中庭「ローム・スクエア」を会場に秋の賑わいを創出します。毎年おなじみの岡崎地域を中心とした市民ステージやアーティスト小山田徹との焚き火、演劇公演などを開催します。ローム・スクエアにはベンチが出現。パフォーマンスを見るための客席、一休みするための腰掛、子ども達にとっては遊具になる？など、訪れた人やシーンによって過ごし方が広がる仕掛けが施されています。毎週末が楽しみになる4つのイベントと一緒に、何度でも遊びにきてください。

### 空間設計:REUNION STUDIO(木村慎弥、安川雄基、石田知弘)

木村慎弥と安川雄基の共同主宰によって2022年に設立した建築設計事務所。建築の設計や現場での施工からコミュニティデザインまで、ハード/ソフトを問わず、都市と建築に関するさまざまなプロジェクトに取り組んでいる。現在のメンバーは木村慎弥、安川雄基、石田知弘の3名。

## OKAZAKI PARK STAGE 2023 企画詳細

### ◆ローム・スクエアライブ

岡崎地域住民を中心としたパフォーマンス等の上演を行う市民ステージ。

[日時]

①9月30日(土)13:00~16:00

あおい苑、白河総合支援学校音楽部、錦林児童館、京都文教中高ダンス部、杜のしらべ・チャオリーナ ほか

②10月1日(日)13:00~16:00

歌って健康コーラス、岡崎女性会民踊部、オカリナアンサンブル夢街道、岡崎リトルポップスターズ、子どもコーラス Comodo、キャナリアンヴォイセズ ほか

③10月7日(土)13:00~16:00

岡崎中学校吹奏楽部、シャイニングスターズ、岡崎幼稚園、岡崎いきセンドラムサークル ほか

※雨天・荒天時はピロティで開催

[料金]無料・申込不要



撮影：中谷利明

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

協力：京都市岡崎いきいき市民活動センター

### ◆岡崎ワールドミュージックフェスタ 2023

岡崎公園を中心とした周辺地域に、文化的な賑わいと交流を生み出すことを目的に、岡崎地域の人々や施設が中心となり実施している音楽祭。

[日時]

10月14日(土)11:00~18:30

※雨天・荒天時はピロティで開催

[料金]無料・申込不要

[演目]

長唄三味線／津軽三味線／三線／タイ音楽・舞踊／バリ舞踊／朝鮮舞踊・民謡・打楽／吹奏楽／箏曲・うた／ゴッタン・うた・パーカッション／  
ゲスト:大川平荒馬保存会(青森県今別町)・アペトウンペ(アイヌ)



撮影：安國真理子

主催：オカフェス実行委員会、岡崎いきいき市民活動センター

共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

協力：NPO 法人音の風

助成：公益財団法人 音楽文化創造 助成事業「国際音楽の日」記念コンサート、京都府文化力チャレンジ補助事業

### ◆小菅紘史×中川裕貴「山月記」

小菅紘史、中川裕貴による「山月記」は、中島敦による同名の短編小説を、一人の俳優と一人の音楽家(チェロ演奏)によって舞台化したものです。高校教科書にも載るこの作品を、音楽家・中川裕貴のチェロ演奏とともに、俳優・小菅紘史がたった一人で語り、虎になってしまった男の孤独と郷愁を舞台作品として描き出します。2020年より様々な場所で上演を行い、各地で大きな反響を得てきた同作品を今回はロームシアター京都の屋外スペースであるローム・スクエアで発表します。



撮影：bozzo

[日時] 2023年10月16日(月)20:00~(上演時間:約50分)

※荒天時は10月17日(火)に順延

[料金]投げ銭制

[出演]小菅紘史 演奏:中川裕貴

[原作]中島敦「山月記」

### 小菅 紘史 Hiroshi Kosuge

1981 年生まれ。東京出身。

舞台俳優。大学から演劇活動をはじめ。2008 年より第七劇場に所属。これまで海外 5 カ国 11 都市、国内 25 都市で上演。2014 年、三重県津市の里山に劇場をつくり、そこに活動拠点を移す。地元での草刈りや山登りなどを通して、余白のある身体づくりを具体化できるような技術を模索している。古武術や介護などの身体操法を取り入れた演劇のワークショップも行なっている。名古屋芸術大学非常勤講師。

### 中川 裕貴 Yuki Nakagawa

1986 年生まれ、三重／京都在住。作曲、演奏、演出を主にチェロを使用して行う。チェロを演奏し広い意味での「声」をその楽器から引き出すこと、またチェロに物理的に打撃を与える打楽器的演奏や自作の弓を使用した特殊奏法など駆使し、それらの音から時間の上に様々な状況を創り出す。音楽以外の表現形式との交流も長く、様々なアーティストのサポートや音楽提供、共同パフォーマンスも継続して行っている。また近年では、ライブ／コンサート活動と並行して、自身がかつて使用し破損したチェロが、改造を施され自動で演奏を行うインスタレーション作品製作にも取り組む。

近年の活動として、「ここでひくことについて(2019)」@京都芸術センター、「アウト、セーフ、フレーム(2020)」@ロームシアター京都サウスホール(ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム“KIPPU”)。サウンドインスタレーション(展示)+パフォーマンス作品として「Autoplay and Autopsy(2021)」@UrBANGUILD などがある。また 2021 年より Koshiro Hino とのユニット「KAKUHAN」での活動もスタートしている。

主催：小菅 紘史、中川 裕貴 共催：ロームシアター京都

## ◆ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語らう会



全国各地でカフェや迎え火などのプロジェクトをアートとして実践するアーティストの小山田徹氏をホストに、ローム・スクエアでちいさな焚き火をします。原始的な「火」を囲みながら、飲み物など片手にゆるやかに語りあうことによって、肩書や身分、所属が問われず、誰もが自律的かつゆるやかに集える場を創出します。

撮影：中谷利明

※本企画は、2021 年度にロームシアター京都の自主事業として開催した、小山田徹と食農思想史研究者・藤原辰史の対談企画【[「いま」を考えるトークシリーズ Vol.19「縁食」のスズメーゆるやかに集うコミュニティの可能性](#)】での対話をきっかけとして立ち上げられたものです。藤原氏は著書『縁食論——孤食と共食のあいだ』(ミシマ社、2020 年)において、食を通じた人と人の結びつきや場の新たなあり方を「縁食」(えんしょく)と名付け、その可能性を提唱しています。トークレポートは[こちら](#)

[日時] 2023年10月15日(日)、21日(土)、22日(日)、28日(土)

各日 17:30~20:30 ※予備日:10月29日(日)

[想定参加人数]1回につき70名(焚き火10か所)予定

[料金]無料・申込不要

企画監修:小山田徹



#### 小山田徹 Toru Koyamada

アーティスト。1961年鹿児島に生まれる。京都市立芸術大学日本画科卒業。84年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アートスケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。日本洞窟学会会員。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

協力:岡崎自治連合会、株式会社中嶋農園、藤原辰史(京都大学人文科学研究所)、南寛、みんなのミシマガジン編集部(株式会社ミシマ社)、藤田龍平(京セラ美術館ラーニング担当)

### 関連企画

#### ◆インキュベーション キョウト シアター? ライブラリー?

劇場(シアター)に図書館(ライブラリー)が出現?

図書館(ライブラリー)が劇場(シアター)に変身?

ロームシアター京都ノースホールに期間限定の“ライブラリー”が出現します。

「テーブル」がある空間で、本をく読む) パフォーマンスをく観る) 読書会・ワークショップ・トークにく参加する)が交差する「開かれた空間」で、自由にく過ごす)時間をみつけてみませんか。

[日時] 10月12日(木)~16日(月) 各日 10:00~20:00

※各日 10:00 から会場受付でパスポートを販売します。入室は予約不要。

※パスポート提示で入退場自由。

※読書会・トークイベント・ワークショップは要事前予約。ただし空きがある場合は当日にご参加いただけます。

[会場]ロームシアター京都 ノースホール 料金:1日100円

[料金] 1日パスポート100円、5日間パスポート500円、18歳以下無料

詳細:<https://rohmtheatrekkyoto.jp/event/108588/>

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、KYOTO EXPERIMENT、京都市、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

事業名:JAPAN LIVE YELL project

### ◆KYOTO EXPERIMENT ミーティングポイント

フェスティバルの交流拠点 & インフォメーションセンターです。今年は「ミーティングポイント 四条烏丸」と「ミーティングポイント ローム・スクエア」の2つの拠点が会期中にオープンします。

[日時] 9月30日(土)～10月22日(日)の土・日・祝日 各日 13:00～18:00

※イベントがある日はオープン時間を延長することもあります。

詳細:<https://kyoto-ex.jp/>

主催:京都国際舞台芸術祭実行委員会[京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、THEATRE E9 KYOTO(一般社団法人アーツシード京都)]

### ◆ニュー・ブランシュ KYOTO 2023 クロージング・パフォーマンス「Floe(フロエ)」

ジャン＝バティスト・アンドレは、漂流する氷河のような、近寄りたがたい環境に自らの身体をさらすことで、自己を超越するメタファーを提案します。今回の来日公演では、同じく現代サーカスのアーティスト、目黒宏次郎とコラボレーションする特別版をご覧ください。

[日時] 10月28日(土)10:00、11:30、15:00、16:00 (各回 30分)

[料金] 無料・申込不要

[出演] ジャン＝バティスト・アンドレ、目黒宏次郎

詳細:<https://nuitblanche.jp/>

主催:京都市、関西日仏学館